

# 十日町小学校とふれあいの丘支援学校との 交流及び共同学習について



十日町市立十日町小学校  
十日町市立ふれあいの丘支援学校  
十日町市発達支援センターおひさま

(十日町市立十日町小学校、十日町市立ふれあいの丘支援学校、十日町市発達支援センター「おひさま」の三施設が、同じ屋根の下で共存しています)

- 1 十日町市の概要**
- 2 三施設の沿革**
- 3 共生の理念**
- 4 校舎の施設設備**
- 5 交流及び共同学習の計画等**
- 6 交流及び共同学習の実際**
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々**
- 8 さいごに**

- 1 十日町市の概要**
- 2 三施設の沿革**
- 3 共生の理念**
- 4 校舎の施設設備**
- 5 交流及び共同学習の計画等**
- 6 交流及び共同学習の実際**
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々**
- 8 さいごに**

# 1 十日町市の概要



# 1 十日町市の概要



# 1 十日町市の概要

十日町小学校 全校児童220人 11学級(特支学級3含む)  
+通級指導教室3  
県費負担教職員20人

ふれあいの丘支援学校 全校児童生徒33人 10学級  
県費負担教職員24人

市発達支援センター「おひさま」 職員18人  
作業療法士、保育士、臨床心理士、社会福祉士、相談員等

- 1 十日町市の概要**
- 2 三施設の沿革**
- 3 共生の理念**
- 4 校舎の施設設備**
- 5 交流及び共同学習の計画等**
- 6 交流及び共同学習の実際**
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々**
- 8 さいごに**

# 2 三施設の沿革

- 平成4年 十日町小学校の校舎改築議論始まる
- 平成5年 校舎改築検討委員会設置
- 平成7年 学校改築ビジョン委員会発足
  - ・学校視察、わいわい会議等 実施養護学校建設を望む保護者が「養護学校がほしい会（土曜会）」を結成
- 平成9年 「学校づくり委員会」発足
  - ・養護学校併設部会
  - ・夢の学校を考える部会 等実施
- 平成11年 十日町小PTA総会で養護学校併設推進を可決
- 平成14年 県立小出養護学校ふれあいの丘分校が十日町小内に開設  
新校舎実現委員会設立
- 平成20年 県立小出養護学校ふれあいの丘分校に高等部開設
- 平成22年 県立小出養護学校ふれあいの丘分校高等部が県立川西高等学校へ移転
- 平成22年7月 市が十日町小学校と市立特別支援学校、発達支援センター併設を決定
- 平成23年7月 新校舎改築工事着工
- 平成24年12月 支援学校の名称を「市立ふれあいの丘支援学校」と決定、新校舎完成
- 平成25年1月 十日町小学校、新校舎での授業開始
- 平成25年4月 ふれあいの丘支援学校、発達支援センターおひさま開所



養護学校空白地域

## 共生の理念に基づく学校づくり

- 十日町小の「空き教室利用」を市・県に提案
- 十日町小とふれあいの丘分校併設を目指す取組



- 1 十日町市の概要
- 2 三施設の沿革
- 3 **共生の理念**
- 4 校舎の施設設備
- 5 交流及び共同学習の計画等
- 6 交流及び共同学習の実際
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々
- 8 さいごに

### 3 共生の理念

誰もが互いの人格と個性を尊重し、支え合う  
共生社会の実現を目指し、障がいのある子も障  
がいのない子も一つの学舎の中で、相互に学び  
合い、認め合い、高め合うことができる教育の  
機会と場を十分に保障していくこと



- 1 十日町市の概要
- 2 三施設の沿革
- 3 共生の理念
- 4 **校舎の施設設備**
- 5 交流及び共同学習の計画等
- 6 交流及び共同学習の実際
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々
- 8 さいごに

## 4 校舎の施設設備



こどもが過ごしているこの施設は、まるで街の中です。こども、教職員、保護者、おひさま利用児とその保護者、学校を支える地域住民、学校視察を含めた様々な外部の方がこの廊下を通り、**当たり前のように行き交います。**自分のそばには多様な人がいることを実感として知ることになります。

だから、こどもは、**実際の街での受け止め方とあまり違いを感じなていない**ようです。



# 4 校舎の施設設備



児童生徒玄関（共有スペース）

# 4 校舎の施設設備



エントランスホール（共有スペース）

# 4 校舎の施設設備



ふれあい広場（共有スペース）

## 4 校舎の施設設備



オープンスペース = 通称「100m廊下」

- 1 十日町市の概要
- 2 三施設の沿革
- 3 共生の理念
- 4 校舎の施設設備
- 5 **交流及び共同学習の計画等**
- 6 交流及び共同学習の実際
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々
- 8 さいごに

# 5 交流及び共同学習 年間計画

	①合同行事交流	②十小4年とふれあいの丘との交流	③授業交流 (ゆめのおかタイム)	④児童会交流 ⑤縦割り班交流
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拡大職員会議①</li> <li>□ 城ヶ丘ふれあいカーニバル</li> <li>・ カーニバルプロジェクト活動</li> <li>・ 種目練習・予行</li> <li>・ 当日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流計画打合せ</li> <li>□ 顔合わせ会</li> <li>□ 昼休み交流</li> <li>    図工で製作した作品で遊ぶなど</li> <li>□ サマーパーティー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業交流打合せ</li> <li>□ 田おこし・田植え(5年)</li> <li>(□ 大地の芸術祭ワークショップ(3・4年))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「ゆめのおか」はじまりの会</li> <li>・ 城ヶ丘顔合せ</li> <li>・ やまびこ班活動スタート</li> <li>□ やまびこ班遊び①</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拡大職員会議②</li> <li>□ 城ヶ丘ふれあいフェスティバル</li> <li>・ 発表練習</li> <li>・ 十小4年との合同発表練習</li> <li>・ 当日</li> <li>□ 持久走大会</li> <li>・ 十小全校とふれあ小学部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 図工：フェスティバルステージ掲示共同製作</li> <li>□ 城ヶ丘ふれあいフェスティバル合同発表</li> <li>□ 社会：県庁見学</li> <li>□ 体育：合同ゲーム</li> <li>□ 音楽：合同演奏</li> <li>□ 給食交流</li> <li>□ 車椅子体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ めごらんどで遊ぼう(1年)</li> <li>□ 野菜パーティー(2年)</li> <li>□ 町たんけん(2年)</li> <li>□ 稲刈り・米粉パーティー(5年)</li> <li>□ 中学部生徒による商店街訪問発表会(高学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 城ヶ丘ビッグフェスタ</li> <li>□ やまびこ班遊び②</li> <li>□ やまびこ班遊び③</li> <li>□ やまびこ班遊び④</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 拡大職員会議③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 昼休み交流</li> <li>    雪遊びなど</li> <li>□ まとめの交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 雪遊び、雪像づくり(1年)</li> <li>□ スキー練習・大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「ゆめのおか」ありがとうの会</li> </ul>

# 5 交流及び共同学習の実施に当たって

## 【交流学習の目標】

両校の児童生徒が関わり合うことを通して、共生、共学の理念の具現化を目指す。

### <十日町小：交流・福祉教育>

- ・ 相手を思いやり、共に助け合う子どもを育てる

### <ふれあいの丘：交流及び共同学習>

- ・ 様々な交流活動を通して、互いの理解を深め、尊重し合いながら共同して生活していく態度を身に付ける。

## ■ 拡大職員会議

- 年3回 各学期始めの長期休業中に実施。
- 合同行事を中心に、三施設全職員で協議。共通理解を図る。

## 5 交流学習（ゆめのおかタイム）の実施に当たって

### ■ 授業交流打合せ（4月）

○交流学習年間計画案を参考に、授業交流する単元（学習活動）や校外学習の年間計画案を作成する。

#### <打合せ参加者>

十日町小 1年担任と ふれあいの丘小学部 1組担任

十日町小 2年担任と ふれあいの丘小学部 2組担任

十日町小 3年担任と ふれあいの丘小学部 3組担任

十日町小 4・5・6年担任と ふれあいの丘小学部 4組担任・中学部主事

### ■ 十日町小4年生とふれあいの丘の交流計画打合せ

R7 十日町小4年生「総合的な学習の時間」のテーマ  
「つなげよう心 広げようカラフルな笑顔」

#### <教育課程の位置づけ>

- ・分校開校当初から「総合的な学習の時間（Jタイム）」の「福祉」をテーマに授業交流を開始。
- ・4年生でじっくりと交流を味わった子どもたちが、「共生」の心を基盤に全校をリードする高学年になってほしいという願いのもと、交流対象学年を4年生に設定。



- 1 十日町市の概要
- 2 三施設の沿革
- 3 共生の理念
- 4 校舎の施設設備
- 5 交流及び共同学習の計画等
- 6 交流及び共同学習の実際**
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々
- 8 さいごに

# 6 交流及び共同学習の実際

## ④児童会交流・⑤縦割り班交流

### □「ゆめのおか」はじまりの会

- ・第1部 城ヶ丘顔合わせ会
- ・第2部 やまびこ班スタートの会

※やまびこ班・・・両校児童生徒が、学校、学年などを超えて、赤白10班ずつ計20班を編成します。

やまびこ班遊びや、カーニバル（運動会）での交流種目「やまびこ班種目」などで交流を深めます。



# 6 交流及び共同学習の実際

⑤縦割り班交流

□やまびこ班で遊ぼう



# 6 交流及び共同学習の実際

## ①合同学校行事

### □城ヶ丘ふれあいカーニバル（5月下旬）

#### カーニバルプロジェクトの様子



（上）応援パネル班：  
両校の児童生徒が色を丁寧に塗っています。

（下）参加賞バッジ班：  
中学部生徒が、十小児童に缶バッジの  
製作手順を優しく教えています。



## 6 交流及び共同学習の実際



(左) やまびこ班種目

ふれあいの丘33人、十日町小220人の全児童生徒が、やまびこ班10班ずつ赤・白に分かれて、ドラゴンとボールを運ぶ団体種目です。

年長者が下級生に気配りをする姿があります。



① 合同学校行事  
□ 運動会

# 6 交流及び共同学習の実際



① 合同学校行事  
□ 文化祭

# 6 交流及び共同学習の実際

## ②十小4年とふれあいの丘との交流 □授業交流



## 6 交流及び共同学習の実際



### ② 十小4年とふれあいの丘との交流

□ 給食交流・昼休み交流

## 6 交流及び共同学習の実際



③授業交流

□ 5年 田植え

## 6 交流及び共同学習の実際



### ③授業交流

□ 2年 町たんけん

## 6 交流及び共同学習の実際



\* 日常交流

□ 校舎内における  
日常的なふれあい

休み時間の階段で、ふれあいの丘  
小学部の友達を応援する子どもたち  
(令和6年11月撮影)

# 6 交流及び共同学習の実際

## 現状

- ・各教科の単元を通じた共同学習の実施には至っていない。
- ・算数については、どのような実施形態が有効なのか不明のため踏み切れない。

## 背景

- ・「分かった」「できた」という実感を伴った理解を生み出す授業づくりが必要・・・当校の切実な学校課題
  - 学力が高いとは言えない。
  - 共同学習の実施により、現行の授業時数を超過することになるのではという懸念
- ・通常の公立学校の定数以外の人的配置はない。

## 理想

- ・共生の理念に基づいた教育活動の推進と確かな学力の育成には相関関係がある。

# 6 交流及び共同学習の実際

各校独自の指導計画  
+ 共同の校外学習

社会、生活、総合、音楽、体育、学校  
行事、児童会活動、（図工）



両校でねらうものが異なる。教育的  
ニーズに最も的確に答える指導を提供  
できる、多様で柔軟な仕組み

= 通常学級、通級による指導、特別支  
援学級、特別支援学校といった多様な  
学びの場での学びを優先

同じ学びの空間において学習することの  
意義・効果といった教育的価値

= 各教科の持つねらいの達成 + 非認知  
能力の育成

## 6 交流及び共同学習の実際

交流及び共同学習の可能性を広げるために

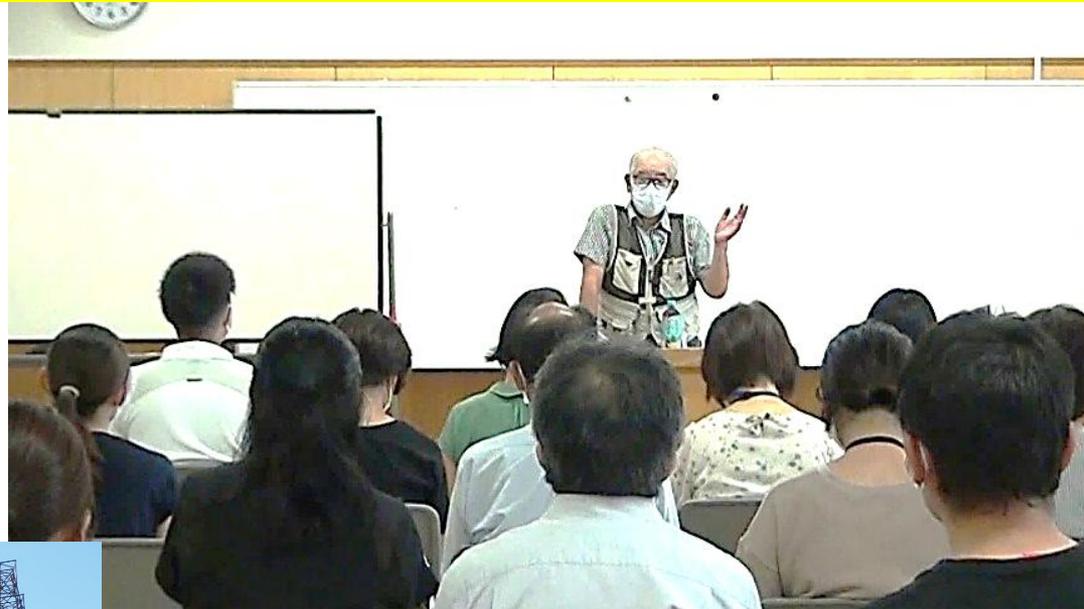
- 人事異動による両校の勤務経験者を配置する。  
(R7 両校に一人ずつ配置されている)
- 教員に過度な負担を強いる取組は持続可能が困難  
(ゆるやかな、しかし、改善を加えながら)
- 両校の意思疎通を図る。  
(担当者による打合せ、合同の職員会議)

- 1 十日町市の概要
- 2 三施設の沿革
- 3 共生の理念
- 4 校舎の施設設備
- 5 交流及び共同学習の計画等
- 6 交流及び共同学習の実際
- 7 **共生の理念に基づく教育を支える方々**
- 8 さいごに

# 7 「共生の理念」に基づく教育を支える PTAや地域の方々（チーム城ヶ丘）

## □PTA・三施設職員

(上) 三施設職員の合同研修会  
(下) PTA・三施設職員による  
環境整備作業



- 学校行事などでは両校のPTAが一緒になり、活動をともにしています。
- 年に必ず1回は、三施設開設に尽力してきたPTAや地域の方々から、想いや考えをお聞きします。
- 多様な専門性を有する職員が三施設にはいます。専門的な知識等を合同で学ぶ機会を設けています。

# 7 「共生の理念」に基づく教育を支える PTAや地域の方々（チーム城ヶ丘）

## □ほほえみの会



ほほえみ夏祭り



クリスマス会

# 7 「共生の理念」に基づく教育を支える PTAや地域の方々（チーム城ヶ丘）

## □地域の方々



（左）節分豆まき集会

十日町ライオンズクラブの皆さんと豆まき集会で交流しています。分校開校時から、毎年心待ちにしている恒例行事となっています。



（右）邦楽の調べ

十日町市の尺八や箏の先生から生演奏をしていただき、日本の伝統音楽に触れ、その音色や演奏の仕方などを耳と目と心で学習します。

# 7 「共生の理念」に基づく教育を支える PTAや地域の方々（チーム城ヶ丘）

## □十日町商店街ほか

十日町商店街の皆様から「ショップバッジ」を活用していただいています。毎年、デザインの更新などの打合せや納品を通して、挨拶、言葉遣いなどを学び、「働く現場」を体験する貴重な機会となっています。

今年度から進路学習では、生徒一人一人に応じた職場体験を2日間することとしました。「ミートコンパニオン」様や「妻有農産（下写真）」様でも従業員の方々と同じ仕事を体験させていただきました。



- 1 十日町市の概要**
- 2 三施設の沿革**
- 3 共生の理念**
- 4 校舎の施設設備**
- 5 交流及び共同学習の計画等**
- 6 交流及び共同学習の実際**
- 7 共生の理念に基づく教育を支える方々**
- 8 さいごに**

## 8 さいごに

### □交流学習の振り返り作文より

- ふれあいの小学部の友達は、ふれあいの先生とずっと一緒にいて、私たちが怖がってしまいました。少し悲しかったです。なかよくふれ合おうと自分たちが考えても、相手が楽しいと思わなければよくないからです。どうすればみんなが楽しくできるか考えてみました。そこから少しずつ心を開いてくれました。
- 交流を通して分かったことは、ほめることの大切さです。ふれあいの友達と交流をしていく中で、ほめ言葉を伝えることが多くなりました。ほめると相手が嬉しそうに笑ってくれることに気付いて、ほめることは大切なのだと学びました。
- 交流で気づいたことは、ふれあいの丘のみんなにいろいろな個性があるということです。交流する中で、人それぞれ好きなことがあったり苦手なことがあったりするのはみんな一緒だと思いました。

## 8 さいごに

全国学力学習状況調査より（令和7年度6年生）

○人が困っているときは、進んで助けていますか？

肯定的評価 十日町小 97.7% 全国 93.7%

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか？

十日町小 100% 全国 96.4%

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？

十日町小 90.7% 全国 81.3%



ご清聴ありがとうございました。